

連合福島第31回年次大会開かれる

安倍政権に終止符を打ち、国民の期待に応える政治状況をめざす

～ 来年の参議院選、県議選で組織内候補者、支援する候補者の必勝を ～



挨拶する今野泰連合福島会長

連合福島の第31回年次大会は、10月26日福島市の福島グリーンパレスで開催され、役員・代議員など約200名が出席した。冒頭今野泰連合福島会長は「今年の春闘は、職場・生活に回復感が伴わない中、全国的に人手不足の課題はあったが、多くの組合員の頑張りを背景に、前年を上回る成果を得ることができた。また、格差是正をめざし非正規労働者の処遇・待遇の改善がはかられ課題は残ったものの今後への足掛かりを築けた。政治情勢は、野党の存在や期待が希薄になる中で『自民党対無党派層』の構図になりつつある。連合福島はこれまで以上に組合員に主権者意識

を根付かせ、政治闘争・選挙活動を民主的な全体議論を進める中で取組み、一刻も早く安倍政権に終止符を打ち、国民の期待に応える政治状況を作り上げるため、来年の参議院選、県議選の勝利を確実なものとしたい。福島の復興再生は、オール福島の態勢をそれぞれの立場で協力し相互理解が前提であり引き続き協力をお願いしたい」と挨拶した。また、ご来賓として連合本部・山本和代副事務局長や畠利行福島県副知事など多くのご来賓の皆様と温かいお祝いの言葉を頂戴



熱心に傾聴する大会代議員の皆さん

した。

経過報告については執行部報告を満場一致で了承し、2019年度の運動方針では電機連合・渡辺代議員、自治労・澤田代議員、福島地区連合・成田威文特別代議員からの意見・要望に対し執行部が答弁し、満場一致で承



来賓挨拶する山本和代連合副事務局長

認された。その後、5号議案の役員の選出では、中間年でもあることから後任者は前任者の残任期間を補うことで役員体制が確認された。最後に、「すべての働く者のための労働運動を力強く展開し、その社会的役割と価値を着実に次の時代につないでいく』とした大会宣言が採択された後、今野会長のガンバロー三唱をもって第31回年次大会を閉会した。



今野会長の発声で”ガンバロー三唱”